

こくぶんじ 市民活動センターだより

発行 こくぶんじ市民活動センター

「こくぶんじ市民活動センター」は市民の活動の拠点として、平成16年10月22日に公設公営で開設されました。この市民活動センターの機能は「情報の提供」「相談・コーディネート」「交流・協働の促進」「研究・学習・講座」「活動の場・設備の提供」を5本の柱として協働推進の窓口を担っております。

「市民活動センター運営の会」は平成16年9月発足し、センターの運営に参画している団体です。

「創刊号ごあいさつ」

国分寺市立こくぶんじ市民活動センター長 内藤達也
(市民生活部文化コミュニティ課長兼務)

みなさん、こんにちは！

日頃より、市民活動、さらには社会貢献活動に精勤され、そのパワーとご努力に心から感謝申し上げます。昨年10月の「こくぶんじ市民活動センター」オープンにあたっては、本当に多くの皆様のご尽力とご支援、貴重なアドバイスを頂き、市の直営事業として動き出したところです。

当センターの業務として、5本の柱を持ち、この柱を皆さんと共にさらに太く、強くしていきたいと考えております。ぜひ引き続きお力をお貸しいただきまして、市民活動団体と市の協働によるセンター運営を強固に進めて参りたいと思っております。当センターのホームページは、700余の市民活動団体が検索でき、うち約300団体が利用団体としてセンターに利用登録していただいたところです。ぜひ今後も多くの市民活動団体がセンター利用登録され、市民活動団体と市、あるいは市民活動団体同士でサポートしながら発展できればと考えております。

この「センターだより」が、今後、益々充実し、登録団体のみなさんはもとより、多くの市民のみなさんとの情報を共有するためのツールになることを願っております。

最後になりますが、まだ未登録の市民活動団体のみなさんには、どうぞ市民活動センターに足をお運び頂くか、当センターのホームページにアクセス賜り、この活動をご理解いただいた上でご登録、ご利用いただけることを心よりお待ちしております。

「新たなセンター運営に向けて 私達の願い」 市民活動センター運営の会理事長 小峰義夫

地方分権化、市民分権時代を迎え、住みよい・住み続けたいまちづくりをめざして、行政と、市民・市民活動団体が「協働」で担っていくことが問われています。当市では、まちづくり条例、環境基本計画など、いろいろな計画・条例が市民参加によって策定されてきました。しかし、これらの、諸計画を具体的に「協働」によって、市政に執りいれ実行していくのはこれからです。既に各分野で仕組みづくりが始まっていますが、乗越えねばならない課題は山のようにあります。「協働運営方式」にかける、私達の熱き思いと行動が市や議会との信頼感を醸成し、昨年10月、市は「運営の会」とサポート協定を結び、公設公営という形で、市民活動センターをスタートさせました。

この「センター事業」の運営は市にとっても、「運営の会」にとっても新しい行政スタイルへ向けた、はじめての試みです。試行錯誤を重ね、市民や議会との更なる信頼関係をつくるのが肝要かと考えます。

市民の皆様には、この、『センターだより』の創刊やホームページ開設を機会に、情報を共有して、「市民活動センター」への関心を持ち、ご利用戴ければ幸いに思います。そして、「センター」の機能・メリットの受け手でなく、役割の担い手（「運営の会」会員）になって、やりがい・いきがいを実感できる、様々なメリットづくり、まちづくりをご一緒に進めていけることを念願してやみません。

センターオープン記念のフォーラムを開催

平成17年1月29日に「参加と協働でどう変えられるか」と題して開かれたフォーラムでは、基調講演「市民参加と協働について」(明治大学大学院長 中邨章氏)と我孫子市の福嶋浩彦市長他3氏によるパネルディスカッション「NPOが地域を変えるか」を行い、先進の事例などを情報交換し、勉強することができました。今後の実践的取り組みを更に進めていくという目的が共有できました。

協働を進めよう！

「従来行政は豊かな財源を背景に高い信頼を得、住民に満足のいくサービスを行ってきたが、このままでは行政の財政破綻を招く。増税を招かないために改革が必要であり、その一つとして、NPO・NGOに参加し『協働』と言う形で、市民サービスに当たることが期待されている。」という基調講演の要旨を、国分寺市民および市職員一人一人がどう理解し、行動するかが大切であり、市民活動センターがどう役立っていくかが問われます。

パネルディスカッションのポイントを下記に挙げました。

協働は自立した者同士で成り立つもの。責任と決定・権限の明確化が重要。

情報の共有と対話。既得権を白紙に。

市民感覚を持った職員と自立した市民による改革を進めている。市民が自治の力を持つことが大切。対話の中で合意を作り出す力がないと活かない。

近隣市の的を絞った二つの施策：団塊の世代が退職後サービスを受ける側でなく、担う側になって活躍できるまち 20代、30代が安心して住み着く魅力あるまちづくり
市民参加により縦割り行政が改善されることを期待する。NPOも縦割りに陥る危険がある。
<市民の感想>



雨天にも関わらず約170名の観客が

今後定期的なこのようなイベントを開催していきたいと考えておりますので、要望等ございましたらぜひ当センターまでご連絡いただきたいと思います。

なお、フォーラムの講演録・当日観客の皆様へ配布し回収したアンケート結果をまとめた実施報告書を作成しましたので、詳細については市民活動センターにて報告書をお配りしています。



市民活動団体の調査とホームページを作成

2004年12月～2005年3月に「市民活動センター運営の会」が受託して、市内の市民団体に対して活動内容などのアンケート調査を実施しました。この事業には58名の市民が関わり、1475団体に依頼し1010団体からアンケートシートを回収することができました。そのうち約750団体を市民活動センターのホームページで紹介しています。団体どうしの連携や新たな市民の参加などにつながる情報受発信の手段として活用していきましょう。

ご協力ありがとうございました。

“市民活動団体と国分寺市との協働2004・2005”策定に協力

これは、平成18年度を目途に市民活動センターの運営を自立した市民団体による“協働運営方式”へ移行する環境を整備する視点から「運営の会」が策定に協力したものです。平成16年度は、その第一歩として、市の検討専門部会に参加して“市民活動団体と国分寺市との協働2004・2005”を討議し、その後庁議決定されました。特に「協働の指針」具現化に向けた方針2の「協働の5つのしくみ(横断的組織づくり、協働可能な事業の選別、協働を伴う提案制度、など透明性の高いしくみ)」は、行政の縦割り障害を乗り越える仕組みとして、これからの協働促進が期待できます。

◁ ◁ ◁17年度の活動計画▷ ▷ ▷

平成17年度は、市民活動団体と市の情報を共有化することにより、信頼関係を構築することを活動内容の柱とし、各種事業を実施していくものとします。

センターを情報の総合窓口と位置づけ、ホームページ、機関誌などの媒体により、市民活動・協働に関する情報を積極的に発信します。また、情報の収集にも努めます。

さらに、協働についての研修会や講座を開催するなど、市民活動団体と市の相互理解を深め、協働を促進していきます。

1. 情報の発信

- * センターのホームページ利用サービスの充実
- * 機関誌・市報等による情報提供の充実
- * 公的施設利用状況の公開
- * 情報収集手段の構築

2. ネットワークづくり

- * センターと既存の公の施設（活動拠点）のネットワークづくり
- * 関係課とのネットワークづくり
- * 市民の協議会等とのネットワークづくり

3. イベント企画

- * 開館1周年記念フォーラムの実施
- * 登録団体間の協力によるイベントの実施
- * 市民・職員向けの研修会・講座の実施

4. 相談受付・コーディネート

- * 相談窓口の一元化
- * 相談業務の充実

5. 協働の促進

- * 協働の方針2004・2005の実施
- * 市民活動団体への補助制度の充実

6. 活動の場・設備の提供

- * センター内施設のサービス充実

ホームページを活用しましょう！

市民活動団体検索を利用すると便利です

団体のデータを更新する場合は、市民活動センターまで
電話・ファックス・Eメールしてください

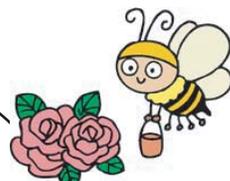
新規にご登録する場合は、直接市民活動センターまでお問い合わせください

「インターネットが使えないのだが…」

ご安心を！市民活動センターにて検索できます
最初はスタッフがお手伝いします

(パソコン2台設置)

ご不明な点などがあれば市民活動センターまでお気軽にお問い合わせください



団体紹介コーナー

団体紹介
大募集！！

平和台自治会

戸倉1丁目にある私たちのアパートは1～10号棟まであります。毎年3月末に自治会の役員交代を行います。皆で話し合いながら各棟より1名ずつ役員を選んでいきます。

具体的な活動としては毎月第3日曜日にアパート周辺の清掃を行い、皆の積極的な参加協力を得ております。清掃と同時にアパート内のコミュニケーションの場として大変役立っています。また清掃後、役員会を行いさまざまな意見の交換を行っております。

6月には、消防署による消防訓練を行います。地震・火災等による災害に役立てればと考えています。

また、サークル活動として「千寿会」による民謡の稽古を毎週木曜日午後1時～5時まで行っております。参加希望または活動についてのお問い合わせは、こくぶんじ市民活動センターまでお寄せください。



「きさらぎ会」
認知症高齢者を支える家族会

市民活動センターオープンと同時に「きさらぎ会」は、団体登録させていただきました。

「きさらぎ会」は認知症のご家族を毎日介護されている介護者の方の「月に一度でも、ほっとできる場がほしい・・・」という要望から、平成8年2月に発足し、平成14年までは保健所の主催でした。平成15年1月に自主グループとしてスタートし、定例会につきましては平成16年4月から国分寺市の事業（健康推進課）に参加して活動を続けています。

会にとって毎月の事務処理（会報発送等）はとても大切な業務です。それが活動センターを利用する事により簡素化され、コピー代金・印刷代金等の経費が削減され、会運営の為に大変助かっております。

これからは他団体とお互いに連絡、協議し、行政との協働促進について話し合いができ、国分寺市の市民活動が盛んになる為にも、このセンターが活用される事を願ってやみません。



市民テーブルこくぶんじ

「市民テーブルこくぶんじ」は、その名の通り1つのテーブルを囲むイメージで、市政にかかわる課題について、分野や方向性、立場の違いを越えてディスカッションし、そのなかから生まれたアイデアを事業化していこうと活動しています。

昨年度は市から「ロケーションボックス」のロケ地カタログ作成を委託されました。今は「地域子ども教室」のひとつ“きっずテーブル”の運営を担っています。いきおい活動のジャンルは一見無節操と思えるほど多岐にわたりますが、市民本位として「いうことをいうためには、やることをやる」を守れば会のポリシーの軸はずれることは無いと確信しています。

文化コミュニティ課において、協働事業の一元的把握が開始され、協働事業についてのプロポーザル方式の定着化を期待しています。そのなかで市民活動センターの「中間支援センター」としての役割がますます求められることでしょう。



表紙の
『センターだより』を
タイトル募集します。

どしどしお寄せください！
しめきりは7月末です。



平成17年7月1日より
土・日・祝 も開館します

編集後記

第二庁舎前にあるけやき木が種をこぼし、それを市民がせっせと拾っていました。小さな種なので芽が出て大木となり種がなるまでには果てしなく年月がかかるだろうに、市民は嬉しそうでした。創刊号が発刊され、僭越ながら、最初は狭い範囲でも市民と行政がネットワークを築きお互いの情報を共有し、いつか国分寺市民が誰でも知っている機関紙になればと願っています。（き）

発行 こくぶんじ市民活動センター(市民生活部文化コミュニティ課)
編集 こくぶんじ市民活動センター/市民活動センター運営の会
〒185-8501 東京都国分寺市戸倉 1-6-1
TEL 042-325-0111・内線228 / FAX 042-325-0140
e-mail kccpc@tiara.ocn.ne.jp
http://www.collabo-kokubunji.com
開館時間 平日 9:00～17:00 平成17年7月1日より土・日・祝も開館予定
平成17年6月1日発行

